

あなたと議会をつなぐ

とっぴん 議会だよ!



令和5年10月6日

7月臨時会
9月定例会
157号

発行 三重県東員町議会

東員町議会HPはこちら▶



- コロナ禍に町民の生活は守られたか・・・ 2
- 9人が町政を問う 8
- 委員会活動報告 14
- 子育てママさんに聞きました..... 20

敬老会を盛り上げる飛龍東員太鼓

コロナ禍の中 住民の生活は守られたのか

9月定例会は、9月1日から21日までの会期で開かれました。

令和4年度決算、令和5年度一般会計補正予算など、議案4件、認定6件を審査し、原案の通り認定可決しました。

令和4年度の一般会計決算は、歳入額116億700万円、歳出額106億7000万円、繰越財源を除いた実質収支は9億3000万円の赤字でした。

また、歳出額は昨年度より12億円増加しました。

詳細は「広報とういん10月号」の決算特集ページをご覧ください。

ここでは、予算決算委員会で議論された質疑を抜粋してお伝えします。

主な質疑

町税収入の増加理由は

問 法人税が増えていますが、なぜですか。

答 税務課 令和4年度は、好調な企業の業績により法人町民税は、前年度比63.5%、約1億5千万円増え、コロナ禍前と比較しても大きく増収となりました。

委託料の決め方は

問 学童保育の委託料が地区で違いますが、なぜですか。

答 子ども家庭課 国の基準で決まっているため、児童数だけでなく、様々な加算措置があります。

不法投棄の取り組みは

問 回収量が増えていますが、不法投棄を減らすための対策は何かしていますか。

答 みらい環境課 不法投棄のパトロールをし、収集撤去もしています。



キッズ東員（学童保育）



監視しています

令和4年度 決算認定

黒字決算やけど

入ったお金(歳入) = 116億 700万円

使ったお金(歳出) = 106億 7000万円



半額で楽しめます

利用者を増やす策は

問 「おでかけ元気パス」の利用者を増やすために何をしていますか。

答 健康長寿課 現在パークゴルフを半額で利用できる特典があります。今後、商工会などにお願いで、協力事業者を募っていきます。



各地区を回ってます

道路の維持管理は

問 道路パトロールは委託ですか。

答 建設課 シルバー人材センターに委託し、週2回実施しています。パトロール中に劣化箇所発見の際には、簡易的補修も行っています。



試掘調査中です

貴重な出土品はあったのか

問 東員第一中学校建設予定地の試掘調査の結果はどうでしたか。

答 教育総務課 来年度予定の工事が遅れるような出土品はありませんでした。本調査は令和6年4月～9月に予定しています。

生徒の学力向上は

問 総合学力調査の結果はどうでしたか。

答 学校教育課 おおむね学力は向上しています。少人数授業などを実施し、よりきめ細かな授業を行うことで学力向上に努めています。また、振り返りで子どもたちが説明したり、文章で書く機会を増やす指導を行いました。



特別会計・公営企業会計

国民健康保険	加入者は3120世帯で4820人でした。加入者が後期高齢者に移行しているため258人減っています。 収支差引額は1億9671万円の黒字となりました。
後期高齢者医療	三重県後期高齢者医療広域連合により運営されているもので、本町の負担分を県へ支出しました。加入者は3832人で298人増えました。 収支差引額は77万円の黒字となりました。
介護保険	介護認定者は、昨年より14人増え916人でした。 収支差引額は3億2312万円の黒字となりました。 フレイルサポーターや認知症サポーターの養成事業を行いました。
下水道事業	令和5年4月1日から地方公営企業会計へ移行しました。 収支差引額は2億4082万円の黒字となりました。
上水道事業	前年度と比較して給水人口は47人増加し25848人でした。年間配水量は327万立法メートルで前年より9万立法メートル(2.9%)増加しました。 61万円の純損失となりました。



50%は低くないですか

問 特定健康診査受診率が50%台で推移しています。これは非常に少ないように思いますがどうですか。

答 保険年金課 県の平均は50%を切っている状況で、東員町は、県内で上位5番前後です。

後期高齢者医療費負担増の反響は

問 自己負担割合に2割負担が追加されました。町民の反応はどうでしたか。

答 保険年金課 1割負担から2割負担に変わった方からの問い合わせが多くありました。高齢者の医療費が増えたことなどを説明し、理解に努めました。

水道料金どうなるのか

問 東員町水道事業始まって以来初の純損失ですが、大丈夫ですか。

答 上下水道課 エネルギー価格高騰と減価償却費が影響して純損失となりました。今回の電力高騰などで赤字になった部分は、留保資金などで補填していきます。



大きな配水ポンプ

7月臨時会補正予算

带状疱疹ワクチン予防接種補助など

補正額 **1068** 万円 (予算総額は 97 億 4265 万円)



443 万円

概要
10月1日より50歳以上を対象に带状疱疹ワクチンの予防接種費用の一部(約2分の1)を助成する事業です。

成人予防接種事業費
(健康長寿課)

健康

9月定例会補正予算

保育園の待機児童解消経費など

補正額 **7162** 万円 (予算総額は 98 億 1427 万円)



10月から開設する窓口

問 「端末を用いた申請」はどう行うのですか。

答 町民課 申請をする人が、タブレットの操作ボタンを押すと委託業者に繋がって対話しながら申請ができます。

464 万円

概要
10月以降のマイナンバーカードの申請は、タブレットなどの端末を役場庁舎と商業施設に設置予定です。

戸籍住民基本台帳経費
(町民課)

つながり



家庭用太陽光発電設備

問 申し込みが多数あった場合はどうなりますか。

答 みらい環境課 予算を超えた時は、次年度に受け付けます。

100 万円

概要
家庭用太陽光発電設備を設置する費用の一部を補助する経費です。
補助額は太陽光発電設備は1kW当たり7万円、蓄電池は工事費の3分の1で、上限は10kWです。

低炭素・循環型社会形成事業
(みらい環境課)

暮らしやすさ

家族

働く・暮らしやすい

学ぶ

子ども支援事業

(子ども家庭課)

394万円

概要

妊娠や出産、子育て全般の相談をはじめ、虐待や貧困、ヤングケアラーなどのあらゆる相談に対応できる相談室と相談中に子どもが遊べるキッズコーナーを設けるための費用です。

消防施設経費

(総務課)

231万円

問

撤去すること、問題になることはないですか。

概要

地元自治会からの要望があったため、防火水槽を撤去する費用です。



撤去する防火水槽

答

総務課 消防水利としては問題ないです。

保育園維持管理経費

(教育総務課)

340万円

概要

保育園の定員増加に対応するため、容量の大きい冷蔵庫などに買い替える費用です。



運動会の練習終わったら

保育園・小学校施設整備費

(教育総務課)

3460万円

概要

神田小学校などの駐車場不足を解消するため、新たに駐車場を整備するものです。保育園の待機児童を解消するため、トイレや手洗い場などの改修する費用です。

問

保育園の手洗い場の改修状況はどうですか。

答

教育総務課 令和3年度にハンドル式のレバーへの取り替えを実施しました。

東員第一中学校建設事業継続費

(教育総務課)

60億5000万円

概要

東員第一中学校を建設するために、令和5年度から令和8年度までの継続費を設定しました。

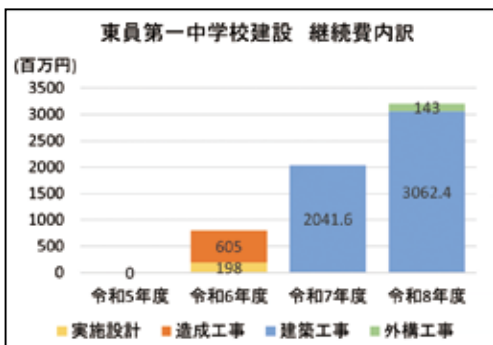
※継続費とは…数年間にわたる建設事業などのように、単年度では支出が終わらない事業について、歳出予算とは別に、あらかじめ経費の総額および年割額を定め、支出するものをいいます。



答 子ども家庭課 庁舎内の東側にある相談室を想定しています。キッズコーナーは、住民票の記載台の位置です。



手をきれいに給食だ





各議案の賛否

令和5年第3回(7月)臨時会(7月21日)

○全会一致の議案○

議案名	審議結果
令和5年度東員町一般会計補正予算(第3号)	可決
概要 带状疱疹ワクチンの予防接種費用の一部を助成することなど	

令和5年第4回(9月)定例会(9月1日~21日)

○全会一致の議案○

議案名	審議結果
令和4年度東員町一般会計決算認定について	認定
概要 歳入決算額 11,606,934 千円 歳出決算額 10,668,304 千円	
令和4年度東員町国民健康保険特別会計決算認定について	認定
概要 歳入決算額 3,000,096 千円 歳出決算額 2,803,389 千円	
令和4年度東員町後期高齢者医療特別会計決算認定について	認定
概要 歳入決算額 374,962 千円 歳出決算額 374,193 千円	
令和4年度東員町介護保険特別会計決算認定について	認定
概要 歳入決算額 2,006,914 千円 歳出決算額 1,683,799 千円	
令和4年度東員町下水道事業特別会計決算認定について	認定
概要 歳入決算額 990,481 千円 歳出決算額 749,658 千円	
令和4年度東員町水道事業会計決算認定について	認定
概要 歳入決算額 304,309 千円 歳出決算額 304,922 千円	
教育委員会の委員の任命について(新任)	同意
概要 教育委員会の委員を任命するにあたり、議会の同意を求めるもの	
令和5年度東員町一般会計補正予算(第4号)	可決
概要 歳入歳出それぞれ 71,622 千円を増額補正するもの	
令和5年度東員町介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決
概要 歳入歳出それぞれ 6,793 千円を増額補正するもの	
令和5年度東員町下水道事業会計補正予算(第1号)	可決
概要 令和5年4月1日から企業会計に移行したため整理するもの	

一般質問

一般質問とは、町政・財政全般について町長の考えや疑問点を質す政策論議のことを言います。

ただし、議案審議(委員会など)の段階で質問できる内容は一般質問としては適当ではないとされています。

9人が町政を問う

P9

大谷 勝治 議員

- ・道路改修工事について
- ・山田溜の防災工事について

P9

山崎まゆみ 議員

- ・「認知症になっても大丈夫」と言い合える地域にするためには
- ・学習支援について

P10

中村 等 議員

- ・保育園の送迎時の危険回避について
- ・第2子以降の保育料の無料化について

P10

伊藤 治雄 議員

- ・福祉政策の推進について
- ・個人番号カードの現状と課題について

P11

三林 浩 議員

- ・学校教育について
- ・防災・減災について

P11

広田 久男 議員

- ・「観光の振興」について

P12

片松 雅弘 議員

- ・子どものタブレット端末や SNS について

P12

大崎 昭一 議員

- ・消防・防災体制の充実について
- ・震災・火災から町民の命・財産を守るための充実について

P13

川瀬 孝代 議員

- ・子宮頸がん予防について
- ・防災対策について

一般質問の内容を動画で視聴できます。

町ホームページの「東員町議会」から「録画動画配信」を検索するか、スマートフォンやタブレットで二次元コードを読み取りご覧ください。



Q. 道路拡幅工事の進捗は A. 事業に着手しています



おたに
大谷 かつし
勝治

問 町道穴太弁天山2号線と県道四日市多度線の交差点から南側約430mの区間の道路幅が狭く事故が多く発生します。道路改修工事の進捗状況はどのようですか。

答 建設課長 県道四日市多度線は、桑名広域清掃事業組合から東へ約400mで交差する路線で、交差点から南方向約430mの区間嘉例川地区については、道路幅員が狭く、対向車とのすれ違いも困難であることから、三重県が道路整備事業に着手しております。

再質問（一問一答）

問 道路幅が狭い対向車とすれ違いが困難表示もない、この様な状態をいつまで放置するのですか。

答 建設課長 道路幅員が狭い道路の前後に注意喚起の看板などの設置を県に要望していきま



道路は安全第一

②希少生物などの保護の対策は、事業採択後に本格的な調査を実施する予定です。

答 産業課長 ①工事の内容や時期はホームページ・現地の案内看板などで周知したいと考えています。

②工事期間が4年と長くなりそうなので、公園利用者に対しての事前周知に対する考えを伺います。

問 山田溜公園の工事について、住民の財産・生命を守る上で防災は大切です。公園も子どもたちの体験学習の場所です。

山田溜の防災工事は

Q. 認知症の方に寄り添うには A. 正しい理解と地域支援です



やまざき
山崎 まゆみ

問 認知症は誰もがなり得る脳の病気で、2025年には、高齢者の5人に一人が認知症になるといことが推測されます。

答 健康長寿課長 『アルツハイマー月間』の啓発を、図書館などでも実施しています。

認知症の方と家族のニーズを的確に把握するため、認知症の正しい理解を広めます。

認知症になっても自分のやりたいことが安心して続けられ、認知症の有無にかかわらず、共に助け合い「認知症になっても大丈夫」「お互いさま」と笑顔で支え合える町を目指します。

学習支援は

問 地域の大人が子どもたちの学習支援を行う仕組みはありますか。

答 教育長 家庭学習に取り組みにくい児童に寄り添った学習支援が行われていた学校がありましたが、コロナ禍のために活動が途絶えました。

教育委員会として再開を支援するためボランティアの募集を広く周知していきます。

また、学生有志で実施している「TOONひびり教室」も応援していきます。

※チームオレンジ：厚労省の施策で地域のサポーターが初期段階からチームを組み、認知症の方とその家族の見守りと生活支援を行う取り組みです。



認知症サポーターのマスコット「ロバ隊長」

Q. 保育園送迎時の危険度回避は A. 安全対策を検討します



中村 等なかもら ひとし

問 保育園の送迎時の危険度回避について、い

なべ保育園の場合を例にあげますと、園舎の敷地の東側を県道「大泉東停車場北大社」線に保育園が隣接し、園の送迎時には、道路に車が渋滞し、その間を車がすり抜けるなど大変危険です。駐車場を新設するなど事故が起きないように安全確保を伺います。

答 教育委員会事務局長

朝の登園時は園の職員による駐車場の整理を行うほか、年齢別の時差登園、5歳児については園北側の駐車場の利用をお願いするなど、保護者の協力も得ながら対応しております。

今後現地確認を行ないながら、周辺道路の安全確保に努め、安全対策を検討していきます。

第2子以降の無償化は

問 子育て世帯の経済的な負担を軽減する目的で、第2子以降の児童の

保育料を、無料化に取り組

んではどうですか。

財源は、地方交付税「財政調整機能」と「財源保障機能」を利用してぜひ全国的な流れになっている無償化の早期実施はいかがですか。

答 教育長 平均的な世帯

において国の定める保育料の水準より、低い保育料を設定しており、第2子以降の保育料を無料にしますと収入減となり財政負担が生じますので、現在のところ考えておりません。

限られた財源の中で、保育・幼児教育の質を高めるための施策を充実させ国の動向をみつつ、子育てに優しい環境づくりを進めていきます。



いなべ幼稚園入口前を横切る県道

Q. 介護保険の現状と今後は A. 持続可能な計画を目指します



伊藤 治雄いとう はるお

問 介護が必要な高齢者の自立支援や介護する家

族の負担軽減を目指し、2000年に介護保険制度が創設されました。団塊世代が後期高齢者となる2025問題やその後の2040問題を踏まえ、本町の現状・施設の整備状況や今後の取組についてお尋ねします。

答 健康長寿課長 介護

保険は3年に一度、見直しを行っております。令和3年度からの第8期介護保険事業計画では、指摘のように高齢者の増加を見込み、中長期的な保険料水準を推計し、持続可能な制度を目指す計画とし「健康づくりの推進」「生きがいづくり・社会参加の推進」などを重点施策に掲げ、事業を推進しています。

令和6年度からの第9期計画では、介護ニーズの高い85歳以上人口が令和17年頃まで増加が見込まれるため、労働力確保について、ICTの導入などに取り組みしていきます。



デイサービスにおける訓練風景

高齢化や核家族化による「老々介護」は社会問題となっており、本町では主な介護者は配偶者が約4割で、その年齢は70歳代が最も多くなっています。

介護施設の町内需給状況については、特別養護老人ホームが2カ所、高齢者対象の入居系施設が10カ所あり、現時点での供給状況は概ね充足していますが、今後の人口動態や介護ニーズなどを適切に捉え、検討が必要と考えます。

Q. 防災・減災対策の町の役割は A. 計画に盛り込み推進します



三林 浩

問 近い将来に予測される「南海トラフ大地震」を踏まえて、具体的な対策をどう講じていく考えですか。

答 総務課長 町の役割は「東員町地域防災計画」に基づき、災害予防・減災対策として、自助・共助を育む対策の推進です。

次に住民の役割は、風水害・地震などの災害の特徴をとらえ、避難場所や避難経路など、心得や注意事項などを確認するための「家族防災会議」を定期的開催することです。

自主防災組織の役割は、適格な活動ができる体制を協議し、早期避難の重要性の理解を図ります。

また、要配慮者に十分配慮し、地域で支援する体制が整備されるよう、自治会長をはじめ、民生委員、社会福祉協議会など関係者と協働で「避難行動要支援者名簿」「個別避難計画」の策定をお願いしています。

初期消火これで大丈夫か



本当に撤去しても大丈夫ですか

問 消火栓ホース格納箱の設置経緯から今後撤去に至るまでの経緯を伺います。

答 総務課長 以前は道路環境などにより常備消防の到着に時間を要していたため、地域住民（共助）が迅速に初期消火できるように設置されました。現在は消防署の強化や道路整備も進み幅の狭い道が少なくなつたことで初期消火までの時間がおおむね5分のため格納箱の必要性は無くなります。

また、消火栓ホースの使用頻度もほぼ無いため、全部撤去する予定です。

Q. 観光振興策の現状は A. 推進体制を構築中です

広田 久男



問 総合計画に掲げている重点施策の「観光の振興」に関して、現状と今後の計画などを伺います。

答 町長 既存の観光資源を活用した事業展開を行なっています。

中部公園で開催する東員マルシェや商工祭などのイベント、また、L.A. POINT A 東員スタジアムをホームとするヴィアティン三重と連携した応援フェスティバルなど、少しずつですが、中部公園、北勢線の利用者増につながっています。

また、本町には、大社祭をはじめとも歌舞伎や東員ミュージカルなど独自の文化イベントも活発に行なっています。

しかし、残念なことは、こうした観光資源を活かし切れていません。まだまだ稼げる仕組みができていないこと、また、町外へのPR力が不足していると感じています。

本気で挑む体制づくりを

問 商工会や農業団体など、地域の観光資源全体を巻き込んだ観光づくりを推進するプロジェクトを庁内に設置してはどうですか。

答 町長 現在、観光戦略の策定と「DMO」の編成を目指した観光地域づくり協議体の立ち上げを進めています。

※DMO：その地域にある自然、食、芸術・芸能、風習など観光資源に精通し、かつ、幅広い官民の連携によって観光地域づくりを推進する法人のこと。



中部公園で開く TOIN マルシェ

Q. 子どものタブレットやSNSについて A. 地域と連携します

かたまつまさひろ
片松雅弘



問

令和元年度から、小中の学校の生徒1人1台のタブレット端末とインターネットを活用した教育を行っているようですが、現在における授業への活用状況や、SNSの危険性について、学校ではどのような使い方やルールなどを教えていますか。

答

学校教育課長 デジタル教材を導入することで、児童生徒それぞれが、学習進捗状況に応じた学習を端末で行うことができるところになっていきます。課題としては、ICT機器に苦手意識を持つ教師もいますので、ICT支援員を配置し、操作に関する指導や授業で活用方法のサポートをしています。各学校では、SNSを使つたいじめや犯罪に巻き込まれる事が無いよう教師と支援員で学年に応じた授業や専門講師を招いての講演会の開催もしています。

問

青少年育成町民会議が、いじめや犯罪に巻き込まれないようにするため子どもSNS対策部会が開かれましたが、どのように連携していきますか。

答

学校教育課長 この部会ではインターネットやSNSの啓発活動、最新の情報収集や講演会の開催など積極的に取り組んでいます。



学習用子どものタブレット

青少年育成会と連携は

青少年育成町民会議を中心に、町をはじめ、学校・家庭・地域との連携を図りながら注意喚起や啓発活動を行い、地域社会全体で取り組んでいきます。

Q. 治水工事で浸水地域を安全に A. 「国庫補助金」で官民連携事業を

おおさきしょういち
大崎 昭一



問

2019年9月豪雨災害は被害甚大でした。中上地区では三狐子川が越水して家屋浸水、長深地区では町道の法面崩壊で民家が全壊しましたが、被害総額はどうか。

答

改定版「防災ハザードマップ」は「危険地域はここ」「避難方向はこっち」「避難が間に合わなくなる前に空振り恐れず早めの避難を心がけましょう」など、自助・共助への注意喚起を主としています。豪雨災害を教訓にした治水対策はいかがですか。

問

行政の仕事・公助はハザードマップで示す危険地域を安全地域に改良することです。豪雨再来を念頭に強化整備を行い、住民の安心を担保することと考えますがいかがですか。

答

総務課長 豪雨災害での復旧費用は約2億円でした。対策は、国の「情報通信技術利活用事業費補助金」を活用して、官民連携事業を

構築します。

危険箇所の迅速な確認、情報伝達の迅速化を図ります。

電気・通電火災防止に
感震ブレーカーを

問

地震が引き金で発生する電気火災・通電火災の防止策として、感震ブレーカーを町内全戸に取り付けを行政の仕事と考えませんか。

答

総務課長 出火防止対策として全国で感震ブレーカー取り付け費用を補助する自治体もあり、国の動向、近隣市町の状況を把握し、検討します。



感震ブレーカーの製品例

川瀬 孝代



Q. 子宮頸がん予防は A. 取り組みます

問 子宮頸がんは、ワクチン接種と検診で予防できるがんです。

罹患率が増加傾向で20代から40代が増えています。接種対象者への対応が急務になります。

令和4年度にHPVワクチンの積極的勧奨が再開され、差し控えの影響を受けた対象者に期間限定で公費による接種が設けられました。

次の3点を伺います。

① 令和5年度直近までのキャッチアップ接種対象者の人数と接種率は。

② 厚労省リーフレット概要版の割合に基づく町の罹患者と死亡者の将来予測は。

③ 令和6年度で期限を迎えるキャッチアップ接種のお知らせ通知が必要と思います。実施は。

答 子ども家庭課長 ①

本年7月末で、対象者は1093人、うち接種者は230人、接種率は21%です。

② 約13人が罹患し3人が死亡することになります。

③ 厚労省のリーフレットや町ホームページ・広報紙により接種効果や副反応のリスクを周知するとともに、改めて未接種者個人に案内文を送付します。

また、中学2年生を対象に「思春期保健事業」として「性教育講座」を毎年開催し、感染予防の重要性を周知しています。

子宮頸がんで苦しむ人が一人でもなくなるように取り組みていきます。



いのちを大切に

議会報告会を開催します

みなさまのご意見をお聴かせください。

日時 12月23日(土)

10時から

場所 保健福祉センター



何故、議会改革を行うのか、本当に必要なのか



地方議会改革の議員研修会を開催しました

8月21日(月)小林副学長による研修会

全員協議会

四日市大学副学長 小林慶太郎氏から「地方議会改革の論点と課題」をテーマとして議員全員が研修を受けました。

「通年議会」の事例として、定例会の会期を条例で1年ごとに定める「先行自治体パターン」や4年間は会期を固定化できる「自治法改正パターン」があることなどや、メリットだけでなくデメリットの事例も聞きました。

「何故、議会改革を行うのか、本当に必要なのか」「町民の意見をいかに取り入れるか」「住民のための議会改革でなければならない」など改革への取り組み方までを講義を受けました。

一中プロポーザル要件設定に対して

提言書を町へ提出しました

令和5年7月18日(火)

東員第一中学校移転事業特別委員会

委員会では東員第一中学校移転基本計画方針に基づき、検討・協議を重ねてきました。

執行部は、設計・施工一括発注方式（DB方式）を採用し、ガラス温室解体を含む66億4200万円に上昇した事業費を60億5千万円（用地取得代を除く）に下げするために、建設業者を選定するためのプロポーザルの要件を10月に決定する前に提言を行いました。

内容は、東員第二中学校との格差を生じさせないことなど、可能な限り柔軟かつ効果、効率的な対応・措置について考慮することなどを求め委員長、副委員長が各委員から出された意見をまとめ提言書を町へ提出しました。



提言書はこちら

総務建設常任委員会

アプリによる住民同士の送迎

本年度はテーマである「地域交通」として、京都府舞鶴市の「アプリによる住民同士の送迎」と奈良県王寺町の「美しヶ丘自治会」の「グリーンスローモビリティ」を視察研修しました。

電話やスマートフォンアプリで住民同士のマッチングを行い、住民同士で住民の所有する自動車ですべて「無償運送」による移動サービスを行っています。

地域における住民同士の「共助」の役割が多く、画期的なシステムですが、人の確保やスマートフォンを利用することができない人も多く、アプリによるマッチングが難しい側面もあります。また電話によるオペレーターへの問い合わせなどの割合が多いことや運営委託費やアプリ使用料が高額なことも課題だと思われます。

8月1日(火) 京都府舞鶴市



地域愛でグリーンスローモビリティ

8月2日(水) 奈良県王寺町



急坂の多い団地内を走っています

時速20キロ未満で公道を走ることのできる、ゴルフカートのような7人乗りの電動カートを使用し、自治会のボランティアさんで、お出かけ支援をしています。月・水・金・土の午前の2時間を定期的に無償運行しています。

雨天の場合は見通しが悪く危険なため運行を中止しています。

ヤマハ発動機と王寺町とのリース契約でリース代金は町が負担し、運行に係る任意保険などは自治会が負担しています。

今後の高齢化による担い手不足で人材確保が課題となっています。

まとめ

本町では、オレンジバスによる外出支援を行っています。今後、さらに高齢化が進み、きめ細かい移動手段や外出支援が必要となると考えられますので、委員会としては行政に提言していきたいと思っております。

日本で一番エコな町

無駄・ごみ・浪費を無くすという理念のもと、ごみへの意識改革をし、行政と町民、企業が連携した仕組みの中で、循環型社会を推進し持続可能な地域づくりの工夫がされていました。

リサイクル率80%を達成するなど『*ゼロウェイストな町』とされています。

本町として、ごみ減量など取り組みの参考としていくことが必要と思いました。

※ゼロウェイスト…無駄や浪費をなくし、ごみをそもそも出さないようにするという取り組み

7月12日(水) 徳島県上勝町



ゴミを45分別してリサイクル

健康ポイントアプリ「テクとく」

7月13日(木) 徳島県庁



糖尿病予防などの健康づくりへの意識向上のため、スマートフォンアプリを活用して、「テクテク歩いておとくをGETする」健康ポイントを獲得し、商品に交換して、地域の活性化へつなげていくというものです。

民間企業と協力し「ウォークビズ選手権」など開催し、働き盛り世代の習慣病対策としても工夫をしていました。運動など健康への習慣を身につけることは大事なことです。

アプリの活用は有効であり、本町としても参考になる取り組みであると思いますので提案していきます。

議会広報広聴常任委員会

サッと読んでスパッと分かる

8月28日(月) 広報研修 (全国町村議員会館)



※ 5W1H…物事を正確に伝える際に用いられる確認事項。who (誰が), what (何を), when (いつ), where (どこで), why (どんな目的で), how (どのように)

簡潔で読み手に伝わる文章作成について、文章校正で名高い文章コンサルタントである前田安正氏の研修を受けてきました。

誤解するような例文を題材にして、どう直せばよいか、新聞社で一貫して文章に携わってきた講師だからこそできる講義でした。

伝わる文章にするには、*5W1Hを意識すること、そして、伝えるべきことを最初に持ってくること。

サッと読んでスパッと理解できる分かりやすい「議会だより」にするため、編集会議で行っている原稿直しの徹底議論は必須過程であり、最高の文章磨きの修行場であると認識しました。

今後も委員全員で精進していきます。

動画を使って議会活動を伝える！

8月29日(火) 神奈川県開成町議会 広報視察



令和4年度の全国町村議長会特別表彰を本町議会と同時受賞した開成町議会のウェブサイトに度肝を抜かれました。

トップページ動画から議会のやる気がドカーンと伝わってきます。

開成町議会は「議会独自のウェブサイト」を開設し、動画を多用して議員自身が分かりやすく情報発信をしています。

議員の自己紹介も動画、一般質問の予告動画、そして終了直後の感想動画など、議員自身がタブレットのアプリを使って短い動画の編集制作を行っています。

議員の言葉・表情を通して伝える情報は格段の親近感と人間味が感じられます。

本町の広報改革に多大な参考になりました。

北勢線対策検討特別委員会

北勢線のこれからを考える

6月28日(水) 名城大学松本教授 研修会



「北勢線がなくなったらどんな暮らしになるだろう」という問いを講師から投げかけられ、「渋滞の深刻化」「代替手段の運行による財政支出」「移動そのものをあきらめる」などの意見交換をしながら、北勢線の利便性向上について実現可能な方策や*BRT化の課題などの講義を受けました。

*BRT…定時性、高速性に優れたバス高速輸送システム

ローカル鉄道への支援策は

「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」の改正の見直しの説明を受けました。

北勢線は、年々沿線自治体の負担が増加しています。

存続するには、社会資本整備総合交付金や先進車両導入関連事業などの補助金を活用できるように現状を検証し、進めていくことが重要と再認識しました。

7月25日(火) 国土交通省へ視察



日本一のエンタメ鉄道に学ぶ

7月26日(水) 千葉県銚子^{ちょうし}電気鉄道へ視察



ピンクニュージンジャー号

鉄道部門は赤字のローカル鉄道ですが、観光収入にも力を入れ、本業以外の様々な施策を行い、全体では6年ぶりの黒字となっています。

倒産を救った奇跡の「ぬれ煎餅」などのユニークな物販にも力を入れ“エンタメ鉄道”として全国から注目されています。

「電車を走らせるためには何でもする」という信念のもと、安全性に関わる設備投資の補助金以外は、自力で経営努力されています。

「鉄道は、情報発信基地として地域経済を活性化させる使命がある」との説明を受けました。

北勢線の今後を考える上で大変参考になる研修でした。

議会改革の取り組みを説明

7月5日(水) 沖縄県北谷町議会 視察受入れ



北谷町議会 議会改革特別委員会の議員 9 名が本町に視察研修に来られました。

本町議会は、議長・副議長・広報広聴委員長が対応し、議会基本条例に基づき議会改革、および広報改革などについて経過や活動状況の説明を行いました。

米軍関係施設の面積が約 52% を占める北谷町には特有の課題はありますが、議員の皆さんからは、住民の暮らしと福祉の向上にチャレンジしている熱意を感じました。

議会改革に邁進されることを期待します。

議会だよりに込める情熱を伝える

7月27日(木) 長崎県諫早市議会 視察受入れ



諫早市議会 議会報発行特別委員会の議員 7 名が、本町の「とういん議会だより」編集活動について視察研修に来られました。

本町議会は副議長・広報広聴委員長・同副委員長が対応し、編集方針や編集過程の奮闘ぶりなどを説明しました。

定例会閉会後の翌月第 1 金曜日に発行、「東員町議会広報紙」が全国一の最速納期で発行していることには大変驚かれたのと同時に、委員の広報紙にかける努力を感じ取られていました。

分かりやすい広報紙を実現するためにお互いが切磋琢磨して邁進されることを期待します。

子育て支援センターで聴きました！

子育ての楽しいこと♪ 大変なことなど



☆質問項目

- ① センターの利用頻度
- ② 子育ての楽しいこと
- ③ 子育ての大変なこと
- ④ 子育ての協力者
- ⑤ 自由意見

ご協力いただきました皆さま、ありがとうございました！



喜屋武さん
(笹尾西)

- ① 週に1回くらい。
- ② 子どもの成長です。最近少し言葉を話せるようになってきました。
- ③ 仕事、家事、子育てに追われていることです。
- ④ 岐阜に住む両親です。月に1回くらい休養に行っています。
- ⑤ 特にありません。



西脇さん
(笹尾東)

- ① 月に2回くらい。
- ② 子どもといっしょに出かけられることや、子どもが楽しんでるとき。
- ③ 特にありません。
- ④ 実家が近いので、親兄弟が助けてくれます。
- ⑤ 東員町の子育て支援はとっても手厚いと感じています。



西田さん
(笹尾東)

- ① 週に2〜3回。
- ② 子どもの成長と子どもの笑顔です。
- ③ いたずら好きで可愛いのですが、面倒をみるのが大変です。おなかの子に気を使うので…。
- ④ 夫の実家が近くにあります。助けてもらっています。
- ⑤ 特にありません。



森さん
(稲部)

- ① 週に2〜3回。
- ② 子どもの成長です。
- ③ 2人同時に機嫌が悪くなり、泣き出すことです。
- ④ ひたすら耐えています。
- ⑤ 近くに両親がいるので助けてくれます。
- ⑥ 特にありません。

子育て支援センターで聴きました『いいねー♪から、ありがとう東員町♪』



山口さん
(稲部)

- ① 毎日来ています。
- ② 子どもの成長です。日々成長を感じるようになってきました。
- ③ 子育てには体力がいることです。
- ④ 夫の協力が一番です。
- ⑤ 特にありません。



山川さん
(笹尾東)

- ① 週4回くらい。
- ② できなかったことができるようになっていく、成長する姿を見ているとき。
- ③ 離乳食を食べてくれない。夜、なかなか寝付いてくれないこと。
- ④ 桑名に住んでいる母親が助けてくれます。
- ⑤ 特にありません。



鈴木さん
(稲部)

- ① 週に1回くらい。
- ② 子どもの笑顔です。例えば、空の飛行機に気付けて感動している姿。
- ③ 特にありません。
- ④ 両親。
- ⑤ 時間制限があり調整ができません。自由に利用できるようにしてください。



伊藤さん
(稲部)

- ① 週2回くらい。
- ② いろいろなことができるようになっていく、成長を感じたとき。
- ③ トイレ時間がまちなこと。
- ④ 母親が助けてくれます。
- ⑤ 東員町の支援に感謝しています。



中田さん
(稲部)

- ① 週に3〜4回。
- ② 子どもの成長です。できなかったことができるようになったとき。
- ③ 家事と育児の両立が大変です。
- ④ 両親。
- ⑤ 特にありません。



岸本さん
(稲部)

- ① 週1回くらい。
- ② 子どもを通じて、いろいろな人との出会いがあることです。
- ③ 夏休みになると上の子どもが家にいるため、下の子どもの育児に専念できないこと。
- ④ 母親。
- ⑤ 小学生でも制限なく利用できる施設がほしいです。

議会クイズ

問題の答えはすべて議会だよりの中にあります。

よく読んで答えてください。

問1 9月定例会の会期は9月1

日から何日まででしょうか。

問2 一般質問をした議員は何人

でしょうか。

問3 本号で興味がある記事は何

ですか。

▼応募方法／官製はがきまたは封

書に、答え・住所・氏名・年齢・

電話番号を記入し、また議会へ

のご意見、ご感想などありましたら、

一緒に記入してお送りください。

▼あて先／〒五一一〇二九五

東員町山田一六〇〇番地

東員町議会事務局

▼締切り／令和5年10月31日

(※三回消印有効)

※正解者の中から抽選で15人の方

に図書カードをプレゼントします。

※ご記入いただきました個人情報につい

ては、賞品発送および読者の声などの

目的以外には一切使用いたしません。

ただし、行政側に対するご意見・ご質

問などの場合は、その内容に応じ、担

当課から報告または回答をさせていただきます

場合もあります。

旧員弁郡最古の東員郵便局



明治4年(1871年)廃藩置県制度により員弁郡が誕生しました。

飛脚の時代から郵便へと代わるころに旧員弁郡*の中で初めて南大社に建てられ、現存する歴史ある建造物です。

明治7年(1874年)に南大社四等郵便取扱所として開設され、郵便集配業務が始まり、昭和49年(1974年)まで局舎として使われました。

保存を望む声も上がっています。

※旧員弁郡…現在のいなべ市と東員町

まちの話題

編集後記

「議会だより」を作成するに当たって、どうしても多くのの方に読んでもらえるのかを委員会でも考えてきました。

最初に思いついたのは写真を多く載せてカラーのページを増やすことでした。また「広報とういん」の記事内容と重複しないよう、議会の動きが分かる記事を載せることでした。

例えば「委員会活動」です。

次に、ページを開いたら「人を惹き付ける言葉」を活用することでした。

その成果もあり、読んでもらった方からは「見やすくなった」と高い評価を頂きました。(ありがたうございます)

今後は、視察研修で学んだ「読む議会だより」から「見る議会だより」を目指し、さらに向上していきたいと思えます。

(三林 浩)

議会広報広聴常任委員会

委員長／広田 久男
副委員長／山崎まゆみ
委員／大崎 昭一 中村 等
片松 雅弘 三林 浩

次回の定例会は
令和5年12月1日に
開会予定です。
傍聴、お待ちしております。

一般質問の議事録はホームページで公開しています。議会事務局でも閲覧できます。